

平成31年度

富山県立大学

入学者選抜要項



富山県立大学では、平成29年4月の「医薬品工学科」の開設に続き、平成31年4月に「看護学部（仮称）」の設置を計画しています。
「ドンドン マスマス」魅力的な大学を目指します。



富山県立大学

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

TEL (0766) 56-7500 (代表)

URL <http://www.pu-toyama.ac.jp>

E-mail admission@pu-toyama.ac.jp

目 次

I	富山県立大学入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー]	1
II	入学定員 (募集人員)	3
III	入試日程等	3
IV	一般入試	4
V	推薦入試	8
VI	障害のある志願者の出願について	10
VII	私費外国人留学生入試	11
VIII	学生募集要項 (細目) の発表	12

○ 看護学部 (仮称) の新設について

富山県立大学は、平成31年4月に「看護学部 (仮称)」の設置を計画しております。なお、これらの計画は文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等によって確定するものであり、今後、変更することがあります。

本要項に掲載する「看護学部 (仮称)」の募集人員、出願資格、入学者選抜方法及び選抜期日等については、全て予定です。詳細については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果通知 (平成30年8月末頃予定) 後に公表する学生募集要項等で発表する予定です。

I 富山県立大学入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー]

富山県立大学は、科学技術の素養に富み人間性豊かな人材、そして創造力と実践力を兼ね備え、地域および社会に貢献できる人材の育成を教育の基本方針としています。

工学部

工学部では、21世紀の重要な課題である「自然や人間に優しい技術の創出」に役立つ教育研究を重点として、しっかりとした専門的学力と深い探究心を育てることに力を注いでいます。さらに、かの「万能の天才」レオナルド・ダ・ヴィンチの旺盛な創造意欲や好奇心に学び、新たな可能性にチャレンジする気概を育てることをめざしています。

以上のような教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った学生の入学を希望します。

- 1 自然科学に興味を持ち、科学技術の基盤となる理系の基礎学力がある。
- 2 困難な問題に直面しても、問題の解決に向けて努力しようとする。
- 3 自分で考え、自分の言葉で表現しようとする。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して社会に貢献したいと思う。

機械システム工学科では特に次のような人を求めます

機械工学分野の基礎知識と学力を身につけ、幅広い視野をもって機械技術者の立場から地球環境問題などの今日的課題に立ち向かう意欲のある人

知能ロボット工学科では特に次のような人を求めます

機械・電子・情報の工学分野の基礎知識と先端技術を身につけ、幅広い視野で次世代ロボットを支える賢いシステムの創造と設計に挑戦する意欲のある人

電子・情報工学科では特に次のような人を求めます

人間に優しい高度情報社会の実現に向けて、コンピュータと情報ネットワークの高度化、豊かな情報メディアの構築と信頼性の高い情報通信システムの開発に情熱を持つ人

環境・社会基盤工学科では特に次のような人を求めます

循環型社会の構築、自然との共生及び地球環境保全に貢献する知識・技術を身につけ、広い視野にたってさまざまな環境問題を解決しようとする意欲のある人

生物工学科では特に次のような人を求めます

環境調和型社会の実現に向けて、グリーンバイオテクノロジーの視点から研究・開発を行い、健康、食料、環境などの課題を解決する意欲を持つ人

医薬品工学科では特に次のような人を求めます

健康長寿社会の実現に向けて、工学の視点から研究・開発・製造を行い、優れた医薬品や医療技術を生み出す意欲を持つ人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【一般入試（前期日程）】

理系の基礎学力を重視し、大学入試センター試験と個別学力検査を課し、これらと調査書の内容を総合して選抜します。

【一般入試（後期日程）】

理系の基礎学力を重視し、大学入試センター試験を課し、これと調査書の内容を総合して選抜します。個別学力検査は課しませんが、大学入試センター試験については前期日程より数学、理科を重視した配点としています。

【推薦入試】

英語、数学の基礎学力テストを課すとともに、面接において論理的な思考力、判断力等を評価し、これらと出願書類の内容を総合して選抜します。

【私費外国人留学生入試】

日本語と理系教科（数学、理科）の日本留学試験を課すとともに、面接において論理的な思考力、判断力、英語の基礎的な力等を評価し、これらと出願書類の内容を総合して選抜します。

看護学部（仮称）

看護学部では、幅広い教養と人々への共感的態度を備えた人間性豊かな人材、さらに、創造力、実践力及び探究心を兼ね備え、多職種と協働しながら地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

以上の教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った人の入学を希望します。

- 1 人々の健康や生活に関心を持ち、幅広い基礎学力がある。
- 2 困難な課題に直面しても、課題の解決に向けて主体的に取組み、努力しようとする。
- 3 多様な考え方を尊重しながらも、自分の考えを表現し、他者との関係性を築いていける。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して地域社会に貢献したいと思う。

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、以下の選抜方式を実施します。

【一般入試（前期日程）】

文系・理系を問わず幅広い基礎学力を重視し、大学入試センター試験を課し、これと論理的な思考力や表現力等を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等を評価する面接及び調査書の内容を総合して選抜します。

【一般入試（後期日程）】

文系・理系を問わず幅広い基礎学力を重視し、大学入試センター試験を課し、これとコミュニケーション能力や判断力等を評価する面接及び調査書の内容を総合して選抜します。

【推薦入試】

英語、数学の基礎学力テストを課すとともに、論理的な思考力や表現力等を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

Ⅱ 入学定員（募集人員）

本学は、平成31年4月に看護学部（仮称）を設置する予定です。

本計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果等によって確定するものであり、変更になる場合があります。

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員				
			推 薦 入 試		前期日程	後期日程	
			うち県外	うち職業科			
工学部	機械システム工学科	60名	13名	3学科計 8名以内 (各学科3名以内)	3学科計 4名程度 (県内のみ)	39名	8名
	知能ロボット工学科	60名	13名			39名	8名
	電子・情報工学科	80名	18名			52名	10名
	環境・社会基盤工学科	55名	13名	1名以内	1名程度 (県内のみ)	36名	6名
	生物工学科	40名	10名	2学科計 2名以内 (各学科2名以内)	2学科計 2名程度 (県内のみ)	26名	4名
	医薬品工学科	35名	10名			23名	2名
看護学部看護学科(仮称) [※]		120名	48名 (県内のみ)	—	—	62名	10名
計		450名	125名	11名以内	7名程度 (県内のみ)	277名	48名

※設置認可申請中のため、今後変更になる可能性があります。

- ・職業科とは、機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科、環境・社会基盤工学科については、文部科学省学校基本調査にいう「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。生物工学科、医薬品工学科については、「工業に関する学科」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。
- ・県内及び県外とは、高等学校等の所在地をいう。

Ⅲ 入試日程等 ※看護学部は仮称

入試区分	対象学部	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続締切日
一般入試	前期日程 工学部 看護学部 [※]	平成31年 1月28日(月) ～2月6日(水)必着 (2月5日(火)消印有効)	平成31年 2月25日(月)	平成31年 3月8日(金)	平成31年 3月15日(金)必着
	後期日程 工学部 看護学部 [※]		(実施しない)	平成31年 3月22日(金)	平成31年 3月27日(水)必着
推薦入試	工学部 看護学部 [※]		平成31年 3月12日(火)		
		平成30年 11月1日(木) ～5日(月)必着 (11月4日(日)消印有効)	平成30年 11月22日(木)	平成30年 11月30日(金)	平成30年 12月6日(木)必着

(注) 詳細については、必ず学生募集要項を確認してください。

☆県外試験会場の設置について

工学部は、一般入試（前期日程）において、本学キャンパスに設置する試験場に加え、名古屋市（JR名古屋駅付近）、長野市（JR長野駅付近）、さいたま市（JR大宮駅付近）に試験場を設置します。詳細については、一般入試学生募集要項等を確認してください。
看護学部（仮称）は、県外試験会場を設置しません。

一般入試（前期日程） 工学部県外試験会場

名古屋会場 ウィンクあいち（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

長野会場 JA長野県ビル（長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3）

大宮会場 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1）

Ⅳ 一般入試

1 工学部

(1) 出願資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、平成31年度大学入試センター試験において、本学の受験に必要な教科・科目を全て受験した者

（学校教育法施行規則第150条第7号の規定に該当する者として出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うので、本学入学試験実施本部に申請書類を請求すること（申請期間は平成30年9月3日(月)から9月7日(金)まで）。

(2) 平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

① 前期日程

《機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科、環境・社会基盤工学科、生物工学科、医薬品工学科》

教科	科 目	教科・科目数
国 語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数 学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	
理 科	「物理」「化学」「生物」から1科目 (注2)	
外 国 語	「英語」 (注3)	

② 後期日程

《機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科》

教科	科 目	教科・科目数
国 語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数 学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	
理 科	「物理」	
外 国 語	「英語」 (注3)	

《環境・社会基盤工学科》

教科	科 目	教科・科目数
国 語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数 学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	
理 科	「物理」「化学」から1科目 (注2)	
外 国 語	「英語」 (注3)	

《生物工学科、医薬品工学科》

教科	科 目	教科・科目数
国 語	「国語」 (注1)	4教科・5科目 (注4)
数 学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	
理 科	「物理」「化学」「生物」から1科目 (注2)	
外 国 語	「英語」 (注3)	

(注1) 「国語」については、近代以降の文章のみを合否判定に利用する。

(注2) 「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注3) 「英語」にはリスニングテストを含む。

(注4) 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

(3) 入試方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査の結果（前期日程のみ）及び調査書の内容を総合して行う。

① 個別学力検査の実施教科・科目等

ア 前期日程

《機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科》

実施教科等	実 施 科 目 等	時 間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1)	120分
理 科	物理（物理基礎・物理）	90分

《環境・社会基盤工学科》

実施教科等	実 施 科 目 等	時 間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1)	120分
理 科	物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）から1科目	90分

《生物工学科、医薬品工学科》

実施教科等	実 施 科 目 等	時 間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1)	120分
理 科	物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）から1科目	90分

(注1) 「数学B」は、「確率分布と統計的な推測」を除く。

(注2) 個別学力検査を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

イ 後期日程

個別学力検査は課さない。

② 大学入試センター試験と個別学力検査の配点

ア 前期日程

《機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科、環境・社会基盤工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
センター試験	100点	200点	100点	250点	650点
個別学力検査	－	250点	200点	－	450点
計	100点	450点	300点	250点	1,100点

《生物工学科、医薬品工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
センター試験	100点	200点	100点	300点	700点
個別学力検査	－	250点	200点	－	450点
計	100点	450点	300点	300点	1,150点

イ 後期日程

《機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科、環境・社会基盤工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
センター試験	100点	500点	300点	300点	1,200点
個別学力検査	－	－	－	－	－
計	100点	500点	300点	300点	1,200点

《生物工学科、医薬品工学科》

区 分	国 語	数 学	理 科	外国語	計
センター試験	100点	450点	300点	300点	1,150点
個別学力検査	－	－	－	－	－
計	100点	450点	300点	300点	1,150点

(4) 志望学科の選択

機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。

生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

2 看護学部（仮称）

※設置認可申請中

ここに記載されている内容は予定であり、今後変更になる可能性があります。必ず平成30年9月下旬に公表予定の「学生募集要項」を確認してください。

(1) 出願資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、平成31年度大学入試センター試験において、本学の受験に必要な教科・科目を全て受験した者

（学校教育法施行規則第150条第7号の規定に該当する者として出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うので、本学入学試験実施本部に申請書類を請求すること（申請期間は平成30年9月3日(月)から9月7日(金)まで）。

(2) 平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

① 前期日程

教科	科目	教科・科目数
国語	「国語」 (注1)	5教科・5科目 または 5教科・6科目 (注6)
地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」 「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」から1科目 (注2)	
数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 から1科目 (注3)	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から 2科目 又は「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 (注4)	
外国語	「英語」 (注5)	

(注1) 「国語」については、近代以降の文章のみを合否判定に利用する。

(注2) 「地理歴史、公民」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注3) 「数学」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。

(注4) 「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「基礎を付した科目」については、2科目の得点を合計して合否判定に利用する。

(注5) 「英語」にはリスニングテストを含む。

(注6) 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

② 後期日程

前期日程に同じ

※認可申請の審査継続による保留等で、平成31年度大学入試センター試験を利用できなかった場合の試験方法については、改めてお知らせします。

(3) 入試方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等の結果及び調査書の内容を総合して行う。

① 個別学力検査の実施教科・科目等

ア 前期日程

小論文（50分）及び面接

イ 後期日程

面接

（注）個別学力検査等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

② 大学入試センター試験と個別学力検査等の配点

ア 前期日程

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面 接	計
センター試験	150点	100点	150点	100点	200点	－	－	700点
個別学力検査等	－	－	－	－	－	100点	200点	300点
計	150点	100点	150点	100点	200点	100点	200点	1,000点

イ 後期日程

区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	面 接	計
センター試験	150点	100点	150点	100点	200点	－	700点
個別学力検査等	－	－	－	－	－	200点	200点
計	150点	100点	150点	100点	200点	200点	900点

V 推薦入試

1 工学部

(1) 出願要件

次の①から③までのいずれにも該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者とする。

① 次のアからウまでのいずれかに該当する者

ア 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者又は平成30年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者又は平成30年度内に修了した者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年3月修了見込みの者又は平成30年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー] に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1校から推薦できる人数は、富山県内の高等学校等は6名以内、富山県外の高等学校等は5名以内とする（普通科と職業科の併設校にあっても同じ。）。

(3) 入試方法

入学者の選抜は、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（数学、外国語）及び面接の結果を総合して行う。

① 基礎学力テスト実施教科・科目等

実施教科等	実施科目等	時間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B <small>(上記範囲から3問出題)</small>	75分
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ	60分
面 接	個人面接	

(注1)「数学B」は、「確率分布と統計的な推測」を除く。

(注2)基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

② 配点

基礎学力テスト		面接	計
数学	外国語		
150点	100点	250点	500点

(注)面接の配点には出願書類の評価を含む。

(4) 志望学科の選択

機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。

生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

2 看護学部（仮称）

※設置認可申請中

ここに記載されている内容は予定であり、今後変更になる可能性があります。必ず平成30年9月下旬に公表予定の「学生募集要項」を確認してください。

(1) 出願要件

次の①から③までのいずれにも該当し、富山県内に所在地を有する出身学校長が責任をもって推薦できる者とする。

- ① 次のア又はイのいずれかに該当する者
 - ア 高等学校を平成31年3月卒業見込みの者又は平成30年度内に卒業した者
 - イ 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者又は平成30年度内に修了した者
- ② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕に示す適性を有する者
- ③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 推薦人数

1校から推薦できる人数は、富山県内に所在地を有する高等学校等から6名以内とする。

(3) 入試方法

入学者の選抜は、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）、小論文及び面接の結果を総合して行う。

① 基礎学力テスト実施教科・科目等

実施教科等	実施科目等	時間
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ	60分
数学	数学Ⅰ・数学A	50分
小論文	—	50分
面接	—	

(注) 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

② 配点

基礎学力テスト		小論文	面接	計
外国語	数学			
100点	100点	100点	200点	500点

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含む。

Ⅵ 障害のある志願者の出願について

障害のある入学志願者については、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ち、学生募集要項に記載する期日までに、本学事務局教務課学生募集係に相談すること。

Ⅶ 私費外国人留学生入試

1 募集人員

工学部	機械システム工学科	若干名
	知能ロボット工学科	若干名
	電子・情報工学科	若干名
	環境・社会基盤工学科	若干名
	生物工学科	若干名
	医薬品工学科	若干名

2 出願要件

次の各号のいずれにも該当する者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成30年度（2018年度）日本留学試験において本学が指定する教科・科目を受験した者
- (3) Test of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格「留学」（又は在日のまま「留学」へ変更できる在留資格）を有する者及び取得できる見込みの者
- (5) 次のア又はイのいずれかに該当する者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者（注）

イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を取得した者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者で、平成31年（2019年）3月31日までに18歳に達する者

（注）日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本永住許可を得ている者は、本選抜に出願することはできない。

3 入試日程等

出 願 期 間	試 験 期 間
平成30年12月25日(火)、12月26日(水)	平成31年1月25日(金)

4 入試方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、下記に示す学力検査の結果、その他出願書類審査の結果を総合して行う。

日 本 留 学 試 験			本学が実施する 学 力 検 査 等
受験を要する教科・科目	出題言語の指定	実施時期の指定	
日本語 理科（物理、化学、 生物から2科目選択） 数学（コース2）	日本語・英語どち らでも可	6月・11月どちら でも可	面接（英語能力の試 問を含む。）

- (2) 学力検査等の配点

日本留学試験の成績			面接	計
日本語	理科	数学		
400点	200点	200点	400点	1,200点

5 志望学科の選択

機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科、知能ロボット工学科及び電子・情報工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。

生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

VIII 学生募集要項（細目）の発表

学生募集要項は9月下旬に発表する予定です。

大学のホームページから「テレメール」や「モバっちょ」を利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、富山県立大学ホームページ (<http://www.pu-toyama.ac.jp>) をご覧ください。

なお、インターネットや電話等を利用して、大学のホームページを経由せずに資料請求を行うことも可能です。

請求方法は次の(1)から(3)までを参照してください。

(1) 「テレメール」を利用する場合

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

	インターネットの場合	自動音声応答電話の場合
	http://telemail.jp	050-8601-0101 (24時間受付)
	バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 	

② 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金
学生募集要項（一般入試）	5 8 2 8 5 2	2 1 5 円
学生募集要項（推薦入試）	5 8 2 8 6 2	2 1 5 円
大学案内	5 6 2 8 5 2	2 1 5 円
学生募集要項（一般入試）+大学案内	5 4 2 8 5 2	2 5 0 円
学生募集要項（推薦入試）+大学案内	5 4 2 8 6 2	2 5 0 円

※料金は変更になる場合があります。

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 受付から1～2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日以前の請求分は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。

※ 自動音声応答電話による請求の場合、住所、名前の登録時には、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

※ 料金は、資料に同封された料金支払用紙の支払方法に従い、支払ってください（支払いに際して手数料が別途必要になります。）。

テレメールによる請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター	050-8601-0102 (9:30~18:00)
----------------	-------------------------------

(2) 「モバっちょ」を利用する場合

インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）で請求
(方法) 右のバーコードまたは下記URLでアクセスしてください。

【URL】 <http://djc-mb.jp/pu-toyama3/>



(料金) 学生募集要項 (一般入試) : 250円、大学案内 : 250円

学生募集要項 (一般入試) + 大学案内 : 350円

※ 資料請求料金を携帯電話・スマートフォンの通話料金と一緒に支払えます。ただし、携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払えない場合があります。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

※ パソコンの場合、クレジットカード決済またはコンビニ後払いとなります。

※ 支払いに際して手数料が別途必要になります。

モバっちょによる請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター

050-3540-5005

(平日 10:00~18:00)

(3) 大学へ請求する場合

学生募集要項・大学案内等の郵送を希望する者は、住所・氏名・郵便番号を明記して、380円切手（速達郵便を希望する場合は、760円切手）を貼付した返信用封筒〔角形2号（332mm×240mm）〕を同封し、下記宛に、「学生募集要項請求（一般入試）」又は「学生募集要項請求（推薦入試）」と朱書きして請求してください。

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学入学試験実施本部 ☎ (0766) 56-7500 (代表)

URL <http://www.pu-toyama.ac.jp>

E-mail admission@pu-toyama.ac.jp

この選抜要項及び大学案内等の郵送を希望される方は、住所・氏名・郵便番号を明記して380円切手（速達郵便を希望する場合は760円切手）を貼付した角形2号（332mm×240mm）の返信用封筒を同封し、下記宛に「入学者選抜要項請求」と朱書きして請求してください。

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学入学試験実施本部